

<研究開発部門マネージャー向け>

創造的研究所であるための条件と研究開発マネージャーに必須の “自発型研究者”育成コーチング

【開催要領】 ※講師とご同業の方のご参加はお断りする場合がございます。※最少催行人数に満たない場合、開催中止とさせて頂く場合がございます。

日 時▶ 2016年 12月 15日 (木) 13:00~17:00

会 場▶ 企業研究会セミナールーム (東京: 麹町)

【開催にあたって】

本来中長期テーマを担うべき研究所で短期テーマばかりに追われてはいないでしょうか？過去十数年にわたって、多くの日本企業が短期テーマにばかり追われる状態が続いてきました。その影響から、多くの会社で「テーマ不全症候群」とも言うべき状態が続いています。その一因は、テーマを自発的に出せない環境のまま若手の時期を過ごしたマネジメント層が若手や中堅のテーマ創出をうまく支援できないことです。自分がやったことがないことを「させる側」に立っても、うまくさせられないのです。そのため、現在の研究開発部門のマネジメント層には、「自分がしたことがないことでもうまくやらせる」スキルが求められています。本セミナーは、コーチングのプロフェッショナルと研究開発マネジメントの専門家により、研究開発部門のマネージャー層に向けて最適化した内容になっています。部下指導や同僚との関係を最良のものにするだけでなく、経営層の要求する新テーマを創造するための具体的な方法を身につけて下さい。

講 師 株式会社サポルテ
代表取締役 塚田康祐氏

講 師 高収益化支援家・弁理士
中村大介氏

講師紹介
北海道大学法学部卒・(株)タナカ経営入社。1989年(株)キャリアスタッフ(現アデコ(株))入社。銀行、札幌、仙台支社勤務。1999年、同社札幌支社(札幌支社長兼北海道・東北エリア長)勤務。翌年、日本人材育成協会北海道地区会長に就任。2002年、同社を退職後、コンサルタントとして独立。地方自治体・人材育成会社・紹介会社のコンサルティング、キャリアカウンセリング・専門研修・階層別研修及びコーチング研修を中心に人材ビジネス全般に従事。2003年(株)アムリブラザ代表取締役社長に就任。2008年同社退任後、(株)サポルテの代表に就任。現在に至る。中小企業診断士

講師紹介
全員経営による技術企業の高収益化の専門家。事業を模倣されて利益率が低下した経験、社員の離反を招いた経験から継続的な組織成長の仕組みを構築。継続的な組織成長の仕組みは、社員の自発・自律・自治を促す学習と実践(会議)である事に気づき、「全員経営会議」として体系化。現在は全員経営会議の提供や、技術企業の高収益化のコンサルティングを通じて、社員の自己成長を促しつつ組織成長を実現する企業を支援している。クライアント企業では、売上が短期間に2倍になったケース、知財出願ベースが3倍になったケース、有望研究開発テーマが多数立案されたケースがある。専門は技術企業の高収益化。北海道大学卒業・東京大学大学院修了

【申込書送付先】 FAX▶03-5215-0951 ※当会 HP からもお申し込み頂けます。 企業研究会Q 検索

■受講料: 1名(税込・資料代含) ※申込書をFAXでご送信いただく際は、FAX番号をお間違えないようご注意ください。

正 会 員	34,560円 (本体価格 32,000円)	一 般	37,800円 (本体価格 35,000円)
-------	------------------------	-----	------------------------

161645-1010 “自発型研究者”育成コーチング			
ふりがな 会社名			
住 所	〒		
TEL	FAX		
ふりがな ご氏名	所 属 役 職		
E-mail			

※申込書にご記入頂いた個人情報は、本研究会に関する確認・連絡および当会主催事業のご案内をお送りする際に利用させていただきます。

■参加要領: 申込書はFAX、または下記担当者宛E-mailにてお送り下さい。当会ホームページからもお申し込み頂けます。後日(開催日1週間~10日前までに)受講票・請求書をお送り致します。
※よくあるご質問(FAQ)は当会HPにてご確認ください。([TOP]→[公開セミナー]→[よくあるご質問])
※お申し込み後のキャンセルはお受け致しかねますので、ご都合が悪くなった場合、代理出席をお願いします。
■お申込・お問合わせ先: 企業研究会 公開セミナー事業グループ 担当/民秋・川守田 E-mail: tamiaki@bri.or.jp
TEL: 03-5215-3514 FAX: 03-5215-0951 〒102-0083 東京都千代田区麹町5-7-2 麹町 M-SQUARE 2F

・プログラム・

<セッション1: 創造的研究所であるための要件> 担当講師 中村大介氏

1. 経営学の定石を利用した自社経営の歴史を理解・俯瞰する
 - (1) 自社タイプ診断 ~コア技術+知財主導か課題解決主導か~
 - (2) 組織学習の視点から研究開発のあり方を分析する
 - (3) 資源ベースの経営理論と研究開発のあり方を分析する
 - (4) ポジショニングの経営理論と研究開発のあり方を分析する
 - (5) 外部環境に対応した研究開発のあり方を分析する

2. 技術経営のあり方に沿ったビジョンと人材像

- (1) 4ステップを理解する: 環境変化-ビジョン-人材像-人材育成
- (2) 環境変化とビジョン策定
- (3) ビジョン策定と人材像策定

3. 「技術の目利き」人材の要件

- (1) ビジネスの推論と技術の推論
- (2) 技術経営の知識
- (3) 知財の位置づけと知財マネジメント知識
- (4) 継続的なコア技術の獲得と高収益化の長い時間軸の理解

<セッション2: 研究開発マネージャーに求められるコーチング実務> 担当講師 塚田康祐氏

1. 指導者に求められる役割と責務に応えるために
 - (1) 指導者の役割を考える
 - (2) 自発型研究員を育成に必須の「コーチング」とは

2. 現場ですぐに活かせる「コーチング」の基本

- (1) 研究員の無限の可能性を信じる「コーチングマインド」の重要性
- (2) 研究員の自らの気づきを促す「傾聴」
- (3) 研究員の潜在能力を引き出す「質問」
- (4) 研究員の強みを活かし、モチベーションを上げる「承認」

3. 現場実践に向けて「コーチング」を体感する

- (1) テーマ創出と研究開発を後押しする「GROW」モデルとは
- (2) GROWモデルの実演<講師によるデモンストレーション>
- (3) GROWモデルの実戦練習<受講者同士でのコーチング>

4. アクションプランの作成

<ワーク>
「指導者として自発的若手育成に向けて具体的な行動を決める」

まとめ

※当日は最新情報を盛り込む関係上、講義内容を若干変更する可能性があります。

※最少催行人数に満たない場合、開催中止となる場合がございます。

裏面もご覧下さい! 一枚のパンフレットで
2種類のセミナーをご案内しております。